

## 要約

早生品種作付地域でも安定生産が可能な飼料用米品種「えみゆたか」を育成しました。

## 研究成果の概要

## 1 背景・目的

青森県では、子実を利用する飼料用米品種として、中生品種の「みなゆたか」が作付けされています。しかし、「みなゆたか」は早生地帯で作付けすると登熟不良となり、安定生産ができないため、現場からは早生の飼料用米品種が要望されていました。



「えみゆたか」の草姿

## 2 内容

- 「みなゆたか」に比べ、出穂期、成熟期が早い早生品種です。
- 寒さに強く多収です。
- いもち病に対しては、特殊な抵抗性遺伝子を持っているため、当面いもち病に罹る可能性は低く防除は不要です。

## 3 活用等

- 三沢市等の県南地域を中心に作付けされ、早生地帯での飼料用米の安定生産に寄与しています。
- 栽培マニュアルとして、普及する技術「早生飼料用米品種『えみゆたか』の安定多収のための栽培法」を作成し、指導機関に配布しました。

## 主な特性

項目	えみゆたか	みなゆたか
出穂期	7月31日	8月3日
成熟期	9月22日	9月25日
倒伏程度(0~5)	1.2	1.3
稈長(cm)	87	88
穂長(cm)	18.5	17.0
穂数(本/m <sup>2</sup> )	458	477
粗玄米重(kg/a)	75.3	77.7
同対標準比(%)	97	(100)
耐冷性(極強~極弱)	極強	極強
いもち病抵抗性抵抗性遺伝子	<i>Pia,i,b(Pi35)</i>	<i>Pii</i>
葉いもち	不明	やや強
穂いもち	不明	やや強

## 関連情報

- 「えみゆたか」という名称は、収量が多く、農家が「笑み」を浮かべているイメージから命名されました。
- 「えみゆたか」は指定試験事業、「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」及び「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」により育成し、栽培マニュアルは「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」及び「イノベーション創出強化研究推進事業」により作成しました。

農林総合研究所 水稻品種開発部

Tel. 0172-52-4346

E-mail nou\_souken@aomori-itc.or.jp



青森産技

あおもりの未来  
技術でサポート